かにえふくし探検隊

第1回　地域の集いの場を見に行こう！

「笑顔」キッズ企画

今回初めての開催となる「かにえふくし探検隊」。探検隊員第1号として調査に出かけたのはミキさん(中2)、リナさん(小4)、リンさん(小4)の3名。

第1回目の探検は地域の集いの場「かにまるカフェ・はるすの湯」でどんな「ふくし」が行われているのかを調査しました！

かにえふくし探検隊ってなに？

かにえふくし探検隊は、私たちが住むまちの「ふくし」に関わる場所を子どもたち(探検隊員)が訪ね、そこで生活する人々や、その生活をお手伝いしている人々のお話を聞き、その取り組みを取材します。この記事では探検隊員が取材した情報をまとめた、より子どもの目線に近い「ふくし」の情報を読者のみなさまにお届けします。

いろいろな人と知り合い、一緒に楽しめる場所「かにまるカフェ・はるすの湯」

かにまるカフェ・はるすの湯には大人から子どもまで色々な人が来ており、おしゃべりをしたり、体操をしたり、足湯に入ったり、それぞれが自分のやりたいことをして楽しんでいます。

参加者の方たちは最初に受付で、「今日呼ばれたい名前」を自分でつけて、そのニックネームで呼び合っています。探検隊がこの理由を聞いた所、「自分の好きな、呼んで欲しい名前で呼んでもらえると嬉しいでしょ」と、その「親しみやすさ」が一番の理由だと教えてもらいました。

スタッフの人達も参加者と一緒になって楽しんだりしていて、どんな立場の人とでも仲良くできるのが特徴です。

カフェが始まったきっかけは「つながりづくり」

かにまるカフェ・はるすの湯は「はるす蟹江デイサービスセンター」の部屋を借りて開催されています。ここでカフェが始まったきっかけをはるすの河柳さんに聞いてみました。

「高齢者が増えていく社会になって、地域の中で色々な人たちが連携していくことが大切になってきました。でも、普段生活している分にはこういうデイサービスのような福祉施設に関わる機会はないですよね。こういった場所で地域のつどいの場ができれば、地域にどんな福祉施設があるのか分かるし、地域の人たちがそこに集まってコミュニケーションをとることができます。色々な人たちのつながりづくりの場になると思って、この場所を提供しています」。

参加者の方からも同じように、「地域のきずなが深まる」、「新しい仲間ができる」というお話を聞き、つながりづくりの場所になっていることがわかりました。

ふくし探検隊員の感想

・高齢者の方を中心に色々な人たちが来ていて、それぞれの人が自分の好きなことをやっていたのが面白かったです。また行ってみたいなと思いました。

・工作や包括支援センターの相談など、特に高齢者の方々を対象に取り組まれていることがたくさん発見できました。

・普段、どこに行けば人と話したりコミュニケーションがとれるのか分からない人がいても、ここに来ればたくさんの人がいて、色々な人とお話ができると思いました。そういう人が来られる場所があるということが発見できて良かったです。